

上場企業各社の2021年3月期決算発表が出揃い、6月期決算企業においても8月に決算短信の公表がなされました。そこで、コロナ禍下にあったFY19～FY20※の産業動向について、IR情報を用いて、以下の2点の切り口で解析をおこなってみました。

- 1) 医療機器関連企業全体の年間売上高の推移(材料/設備系別)：FY17～FY20分
- 2) 海外(地域別)売上高比率の比較：FY19、FY20分

※Fiscal Year(FY)の考え方：MDPROでは、同年7月期から翌年6月期までの決算値を同一決算年度として集計しています(例：FY20=2020年8月期、12月期及び2021年3月期、6月期)。

- 1) 医療機器関連企業全体の年間売上高の推移(材料/設備系別)：FY17～FY20分

まず、FY19、FY20の売上高の推移をコロナ禍前のFY17、FY18と比較して、医療機器産業へのコロナ禍の影響を見てみました。

<集計方法>：

- ・医療機器単一セグメントもしくは全セグメントにおいて医療機器を含む企業、または医療機器を含む最小セグメント(ヘルスケア、ライフサイエンス、医用機器等)の情報が開示されている企業のうち、FY17～FY20のデータが揃っている企業44社を集計対象としました。
- ・医療機器を含むヘルスケア等のセグメント情報が開示されているものの、医薬品等、医療機器以外の収益の比率が高いと思われる企業は調査対象外としました。
- ・各企業をその製造販売する製品群で大きく材料系、設備系に分類し、その傾向を分析しました。

<調査対象企業：44社>※1) 8月期決算、※2) 12月期決算、※3) 6月期決算 ※なし) 3月期決算

**材料系企業(21社)：**朝日インテック※3)、オーベクス、カネカ、川本産業、クリエートメディック※2)、シード、ジェイ・エム・エス、大研医器、帝人、東洋紡、東レ、ナカニシ※2)、ニプロ、日本エム・ディ・エム、日本ライフライン、パイオラックス、ホギメディカル、HOYA、マニー※1)、メディキット、メニコン

**設備系企業(16社)：**エー・アンド・デイ、オムロン、オリンパス、キヤノン※2)、コニカミノルタ、シスメックス、島津製作所、テクノメディカ、トプコン、ニコン、日本アイ・エス・ケイ※2)、日本電子、日本フェンオール※2)、フクダ電子、堀場製作所※2)、リオン

**材料/設備両系企業(7社)：**旭化成、エイアンドティ※2)、松風、テルモ、日機装※2)、日本光電工業、プレジジョン・システム・サイエンス※3)

<結果1>

図1に上記44社合計のFY17～FY20の売上高推移と売上高の対前年増減比を示します。

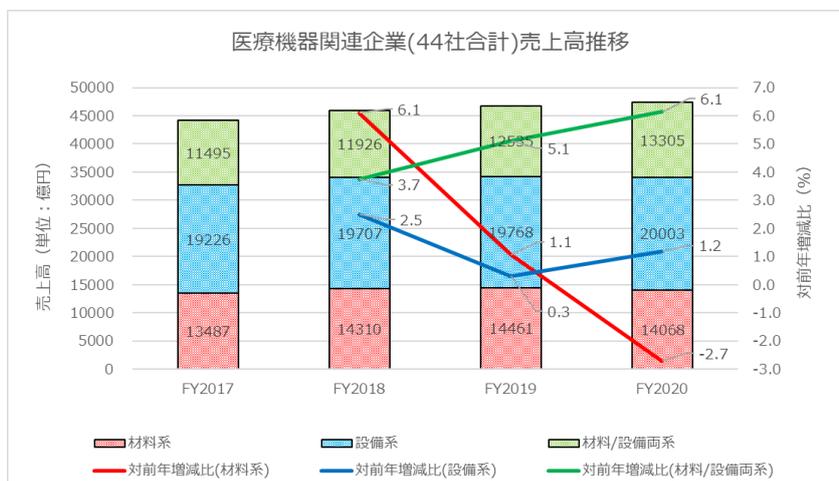


図1：医療機器関連企業(44社合計)売上高推移(FY17～FY20)

医機連通信 286 号の MDPRO ミニコラムにおいて、2020 年度の 1~3Q の決算集計の結果として、医療機器産業もコロナ禍のあおりを受けて一時期は売上高の落ち込みを見せたものの、回復傾向であることを報告しました<sup>1)</sup>。集計範囲の違いはあるものの、図 1 に示した年度の集計でも FY19、FY20 共に売上増となっており、医療機器産業全体としては通年では成長傾向を維持したと言えます。

ただし、前述の 2020 年度の 1~3Q の決算集計の際にも考察いたしました。大まかに材料系/設備系と区分した企業の集計においては、図 1 の赤線で示した通り、材料系の企業の対前年増減比が下降気味で、設備系もしくは材料/設備両系の企業に比べて減収傾向にあることがわかりました。

## 2) 海外(地域別)売上高比率の比較：FY19、FY20 分

次に、各企業から開示されている IR 情報から海外(地域別)の売上高を抽出し、FY19 と FY20 分の値を比較してみました。

IR 情報には多くの場合、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類された地域ごと(国内外)の連結売上高が開示されています。つまり、薬事工業生産動態統計調査や貿易統計では把握することができない、海外工場から海外市場への販売実績も含む連結の売上高を把握することが可能です。

また、決算説明資料や FACTBOOK 等の中に、有価証券報告書や決算短信より詳細なセグメント内の情報を開示している企業も増えており、詳細に見ていくことでセグメント別・地域別の売上高等のデータを収集することが可能です。そこで、上記 1) の企業のうち、医療機器単一セグメントもしくは医療機器関連セグメントにおける海外売上高の情報を開示している 26 社の情報を集計し、FY19 と FY20 の海外売上高比率の比較をしてみました。中でも、欧州、米州、中国、アジア等の地域別の売上高が開示されているものはそれぞれの集計を行い、地域別の比率を比較しました。

### <集計方法>

- ・日本以外の地域の分類は企業ごとに若干異なるため、大まかに以下のとおり分類しました。
- ・米州：米州(一部、南米を含むものもあり)、北米、アメリカ、米国、等
- ・欧州：欧州・ヨーロッパ(一部、ロシアを含むものもあり)、等
- ・中国(アジアとは別に記載があるもののみ)：中国、中国圏(台湾、香港を含む)、等
- ・アジア：中国を含むアジア全体、中国以外のアジア(一部、オセアニアを含むものもあり)、等
- ・その他：日本以外の海外(上記区分の無い企業)、上記以外でその他と記載のあるもの、等

### <調査対象企業:26 社>

朝日インテック、旭化成、エー・アンド・デイ、オムロン、オリンパス、キヤノン、クリエートメディック、シード、ジェイ・エム・エス、シスメックス、島津製作所、松風、テクノメディカ、テルモ、東レ、ナカニシ、日機装、ニコン、ニプロ、日本エム・ディ・エム、日本光電工業、HOYA、堀場製作所、マニー、メディキット、メニコン

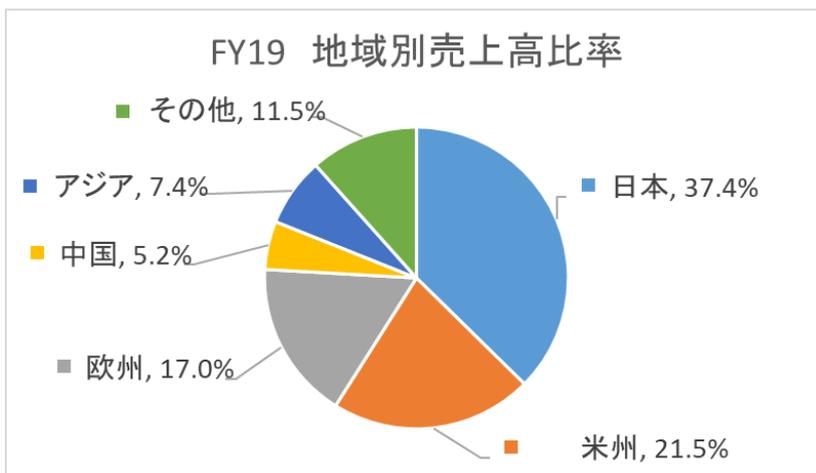
### <結果 2 >

対象企業 26 社の連結売上高合計は FY19 で約 3.99 兆円(上記 44 社分の約 85.3%)、FY20 で約 4.02 兆円(上記 44 社分の約 84.9%)でした。この数字は、この解析対象がある程度医療機器産業全体の傾向を近似し得ることを示しているのではないかと思います。

次頁の図 2 及び図 3 に FY19 及び FY20 の地域別売上高比率を示します。

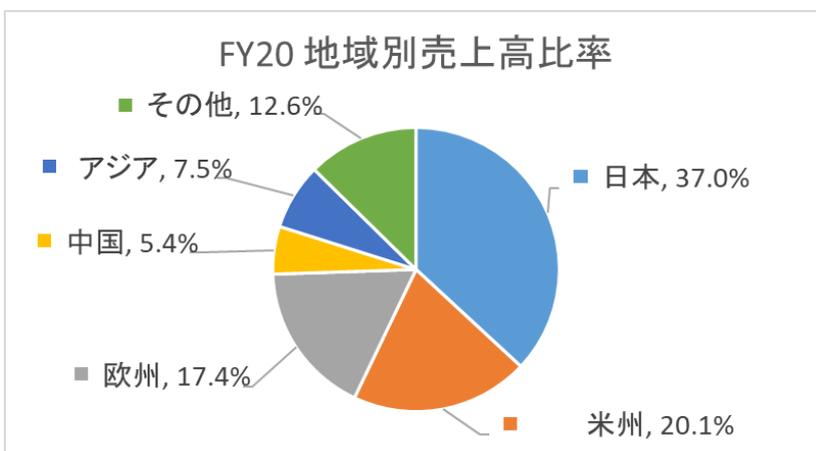
海外売上高比率は FY19 で 62.6%、FY20 で 63.0%でしたが、同一対象における FY18 の海外売上高比率も調べたところ 62.8%であったことから、コロナ禍前後でほぼ横ばいであったと言えます。

地域別の増減(FY20-FY19)としては、米州：-1.4%ポイント(以下、%pt)、欧州：+0.4%pt、中国：+0.2%pt、アジア：+0.1%pt、その他：+1.1%pt と大幅な変化はないものの、米州の減少分を他の地域で分け合っているようにも見えます。



FY19(26社分)  
 ■総売上高：3.99兆円  
 (図1の44社分の85.3%)  
 ■海外売上高比率：62.6%

図2：FY19 地域別売上高比率(上場医療機器関連企業26社IR情報より集計)



FY20(26社分)  
 ■総売上高：4.02兆円  
 (図1の44社分の84.9%)  
 ■海外売上高比率：63.0%

図3：FY20 地域別売上高比率(上場医療機器関連企業26社IR情報より集計)

コロナ禍によるロックダウン等の影響で一時期は生産や物流が停滞したという報道もあったことから、海外売上比率の低下や地域配分の変動があることを予想していましたが、全体としては影響が少なく、各地域における売上を維持していることがわかりました。

<まとめ>

薬事工業生産動態統計調査や貿易統計では把握することが困難な、海外顧客への売上規模や地域別の動向を知る上で、IR情報は非常に有益なツールと考えます。一方、今回の集計にあたり、この1~2年で上場廃止やグループ会社でのまとめ決算公表等により、医療機器セグメントとしての詳細の把握が難しくなった企業もありましたし、異業種や非上場のベンチャー企業等の情報はIR情報では把握できないという課題も感じました。

今後も、各企業から公表されるIR情報の長所・短所を捉えつつ、様々な側面からの産業分析への活用手法を検討していきたいと思っております。

◇出典

- 1) (一社)日本医療機器産業連合会, MDPRO ミニコラム: IRデータからみた2020年度のコロナ禍の医療機器産業への影響, 医機連通信286号, 2021/4/15,  
 < [https://www.jfmda.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2021/07/%E3%83%9F%E3%83%8B%E3%82%B3%E3%83%A9%E3%83%A0\\_20210415\\_%E7%AC%AC286%E5%8F%B7re.pdf.pdf](https://www.jfmda.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2021/07/%E3%83%9F%E3%83%8B%E3%82%B3%E3%83%A9%E3%83%A0_20210415_%E7%AC%AC286%E5%8F%B7re.pdf.pdf) >

(医療機器政策調査研究所 小濱 ゆかり 記)

医療機器政策調査研究所からのお知らせ @JFMDA\_MDPRO  
 Twitterで医療機器産業に関連するニュースを配信中。医機連トップページからフォローできます。